

# No. 1121

## 夏は来ぬ

七月六日から始まった東京・下谷、入谷鬼子母神の朝顔市。鉢を並べる植木屋さんから「買った買った」の掛け声がかかれば気の早い下町っ子がゆかた姿でかけつけて大にぎわい。不景気を反映してか、お値段は昨年並みの七百円、三日間で七万鉢と売れ行きも上々。四十万人もの人々がおしかけ、まだつぼみを閉じている朝顔に夏への思いをませました。

### 第75通常国会

## 大荒れの国会閉幕

第75通常国会は7月4日の会期切れを目前に一層混迷の度を加えた。6年振りの衛視執行によって騒然とする参院本会議場「選挙二法」や「酒・たばこ」の値上げなど重要法案の成否をかけて各党の利害が微妙にからみあい“良識の府”参院は終始混乱した。連日の徹夜に秘書団もぐったり。議員総会では党内の造反組を一人でも少なくしようと若手議員の説得。国会周辺でも連夜にわたりデモがくり返され内閣成立半年で早くも三木内閣打倒の声があがった。4日午前1時25分、再開された本会議に成田社会党委員長ら衆議院議員も応援にかけつけ激励。

しかし、質疑の最中に社会党の松本英一氏が疲労で倒れ、議場は再び混乱した。やっと投票に入ったものの、公明・共産両党は牛歩戦術をとり徹底的に議事引き延ばして抵抗した。

4日、午後6時すぎ「選挙二法」は成立、続いて「酒・たばこ」値上げ法案の審議に移った。この時、事務手続きにミスが発生、本会議はまた休憩に入った。

休憩に入ったまま、5日午前0時を迎え、第75通常国会は閉幕「酒・たばこ」法案は結局廃案、異常な幕切れとなった。

波乱の国会を終えた5日、午前9時、三木首相は首相官邸で記者会見を行ない、今後の政治日程について語った。

通常国会で首相の政治力と指導性を問われた三木首相、その前途はけわしく厳しい。